

令和4(2022)年6月

軽自動車新車販売速報

令和4(2022)年7月1日

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：赤間俊一、略称：全軽自協）の調べによる令和4(2022)年6月の軽自動車新車販売台数(新車新規検査台数、トレーラー等を除くナンバーベース)は、全体で130,366台、前年同月比0.4%減となり、13か月連続のマイナスとなりました。

車種別では、乗用車が98,397台で前年同月比0.1%減(13か月連続減)、貨物車が31,969台で同1.4%減(4か月連続減)。貨物車の内訳は、ボンネットバンが2,814台で前年同月比3.7%増(2か月ぶり増)、キャブオーバーバンが16,050台で同0.7%増(3か月ぶり増)、トラックが13,105台で同4.9%減(13か月連続減)となっています。

この結果、令和4年上期(令和4年1月～6月)の新車販売台数は800,418台、前年同期比15.1%減となり、上期としては2年ぶりのマイナスとなりました。

上期販売台数の内訳は、乗用車が602,118台で前年同期比17.8%減(2年ぶり減)、貨物車が198,300台で同5.8%減(2年ぶり減)。貨物車の内訳は、ボンネットバンが17,240台で同1.7%減(3年連続減)、キャブオーバーバンが99,937台で同4.3%増(2年連続増)、トラックが81,123台で同16.6%減(2年ぶり減)となっています。